

平成30年度京都大学法学部 第3年次編入学試験問題

論 文

試験時間 13 : 30 ~ 16 : 00

※注意事項

- ・ 係員が試験開始の合図をするまで、問題を見ないこと。
- ・ 問題用紙は試験終了後、持ち帰ること。
- ・ 問題は第一問と第二問からなり、全ての問題に解答すること。
- ・ 解答用紙は第一問と第二問別々であるので、間違えないように解答すること。
- ・ 問題用紙は下書きに使用してもよい。

第一問

「法」と「政治」の相違点と共通点について論じなさい。

第二問

次の文章を読んで、手続的正義の価値について、具体例を挙げつつ論じなさい。

実質的正義が、決定の結果の内容的正当性に関する要請であるのに対して、手続的正義は、決定に至るまでの手続過程に関するものであり、その決定の利害関係者の各要求に対して公正な手続にのっとして公平な配慮を払うことを要請する。従来、手続的正義は、「目的は手段を正当化する」とか「結果よければすべてよし」などと言われ、実質的正義の実現の手段にすぎないとみられがちであった。だが、最近では、手続的正義の遵守自体が、その結果如何を問わず、別個独立の固有の価値をもつことが一般的に認められるようになっている。

出典 田中成明『法学入門（新版）』（有斐閣、2016年）92頁